

新型コロナワクチン接種は・・・

大切な人を守る！つらい後遺症を防ぐ！重症化を防ぐ！・・・メリットがあります！！
マスク着用など基本的な感染防止対策の徹底とあわせて ご協力をお願いします！



1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用を推奨する場面※は次のとおりです。
 - 屋内において、他者と距離（2m以上を目安）がとれない場合
 - 屋内において、他者と距離がとれるが会話を行う場合
 - 屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合
 - 重症化リスクの高い者と接する場合
- ・手洗い、換気、人と人との距離の確保等を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

※…特に夏場については、マスク着用が必要ない屋外の場面では、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨。
また、就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。

2 会食はリスク大！特に注意しましょう

- ・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ① 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- ② なるべく普段から一緒にいる人と
- ③ 人数を絞って



- ・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- ・飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- ・宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

熊本県知事 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

夏場をうつ期間や大人数での飲食、長時間による飲酒等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合があります。様々な工夫と一人一人の心がけで、感染リスクを下げることは可能です。感染リスクを下げるための4つのステップをぜひ実践しましょう！

1. 予約・準備の下を厳守
 - ① 予約をする際に、感染防止対策を実施している店舗を確認しましょう。
 - ・感染症対策が実施している店舗は、スタッフの検温が完了済みです。
 - ② 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするよう確認しましょう。
 - ※ 認証店が対応しますが、下記のように注文で感染リスクを下げましょう。
2. 来店時・準備の下を厳守
 - ① 来店時・準備時の検温と検知、検温の値は必ず検知しないようにしましょう。
 - ② 入店時に手洗いや手指消毒を行い、マスクを着用しましょう。すぐに着脱しましょう。
 - ③ 来店時・準備時に手洗いを厳守
 - ④ 食事時でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
 - ・ 食事の場には必ず検温を行い、検温の結果が異常な場合は、検温スタッフに検温結果を伝えましょう。
 - ⑤ 検温が正常であれば、アルコールを飲みます。検温結果が異常な場合は、検温スタッフに検温結果を伝えましょう。
 - ⑥ 検温が正常であれば、アルコールを飲みます。検温結果が異常な場合は、検温スタッフに検温結果を伝えましょう。
 - ⑦ 検温が正常であれば、アルコールを飲みます。検温結果が異常な場合は、検温スタッフに検温結果を伝えましょう。
3. 食中・食後の下を厳守
 - ① 長時間かつ会話の多い日は避けましょう。
 - ② 検温結果が正常であれば、検温スタッフに検温結果を伝えましょう。
 - ③ 検温が正常であれば、アルコールを飲みます。検温結果が異常な場合は、検温スタッフに検温結果を伝えましょう。

避難所

避難する際も新型コロナウイルス感染症への対応を忘れずに

大雨や台風など自然災害が発生しやすい時期を迎えました。災害時には断水により手指の流水洗浄ができない可能性があることや、避難所など密集した環境下での集団避難により新型コロナウイルスやノロウイルス、インフルエンザなどの感染が拡大するリスクが高まるため、感染予防対策に万全を期す必要があります。避難所が開設されるような災害が発生した場合に備え、事前に災害発生時の対応について考えておきましょう。

分散型避難行動判断フロー図

自宅避難

- ①気象情報に注意し、日頃からハザードマップなどにより自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域でないかの確認をしましょう。
- ②備蓄品の確認や物の落下転倒防止の確認をしましょう。



親戚や友人の家などへの避難

災害時に避難生活が必要な場合、町指定避難所は過密状態になる可能性があるため、可能な場合は安全が確保された親戚や友人の家、最寄りの公民館などへ避難しましょう。
※接触機会が増えるため、感染予防対策を行ってください。



地域の公民館などの一時避難所への避難

町指定避難所への避難

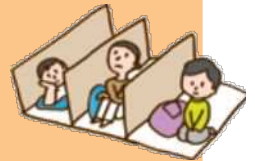
災害規模に応じ、町が指定した最寄りの避難所へ避難する。
※車中避難（避難所での過密状態を避けるため、避難所駐車場の車中に避難する）も必要に応じてご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症対策として、避難所での「3密」を避けるため、避難行動判断フローに沿った避難計画と日頃からの準備をお願いします。

町の対応

- ・十分な換気の実施、スペースの確保

避難所内は、十分な換気に努めるとともに、避難者間の十分なスペースを確保（パーティションの活用など）に努めます。



- ・発熱、咳などの症状がある人への対応

発熱や咳など体調が不良な場合は、速やかに避難所担当職員や巡回保健師などが対応します。



避難所に持参するもの

避難所にはできる限りの物資を準備しますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するためにも各自での持参にご協力ください。

チェックリスト

- ・マスク（ない場合はキッチンペーパーと輪ゴムなどで代用）
- ・常備薬
- ・食料
- ・体温計
- ・ハンドソープや固形石鹸
- ・ティッシュペーパー
- ・ポリ袋 など



ハザードマップなどを確認しましょう

災害の備えや避難所利用などに関しては、「大津町洪水・土砂災害ハザードマップ」や「防災ハンドブック」などを活用ください。



大津町洪水等ハザードマップ
(町ホームページ掲載)

健康状態のチェック 次の症状がある際はご相談ください。

- ①息苦しさ、強いだるさ、高熱などの症状のいずれかがある場合。
 - ②発熱や咳など比較的軽い風邪の重症化しやすい人で、発熱や咳などの症状がある場合。
- 症状が4日以上続く場合。

熊本県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口

☎ 096 (300) 5909 (24時間対応)